

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
1 池田 貞雄	<p>1 DXを活用した市の出先機関の拠点構築について 市民の方が本庁舎まで来なくとも、市の出先機関で今までできなかった手続等ができるよう、DXを活用した新たな拠点づくりの取組ができないか伺います。</p> <p>2 本庁舎等のコインパーキングについて 現在の使用方法では費用を掛けてコインパーキングにした意味がないと思います。施設とコインパーキングは別に考え、駅前コインパーキングと同様の考えで、規定どおりの使用料金を頂くことを提案します。また、他の施設にもコインパーキングを設置してはどうかと提案しますが、市の考えを伺います。</p> <p>3 部活動の地域移行について 市立中学校の部活動地域移行の進捗状況と今後の進め方を伺います。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p>
2 嶋野 加代	<p>1 市政におけるSNS等の活用について</p> <p>(1) 公式SNSの活用状況について 現在活用されている公式SNSの種類とそれぞれの活用状況について伺います。</p> <p>(2) 提供される情報の内容及び頻度について それぞれの特徴を生かした内容の選定や提供頻度等について伺います。「催し物コーナー」など、以前の広報にいぎにはあって、現在は割愛されている内容について、積極的に提供すべきと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>(3) 利用促進策について 高齢者向けスマホ教室における利用者登録など、利用促進策について伺います。</p> <p>(4) 町内会における取組について</p> <p>ア 電子回覧板等の導入について 電子回覧板等の導入についての現状と課題、費用負担についての考え方を伺います。</p> <p>イ 集会所の管理について インターネットを活用した利用申請や鍵の管理を検討されていると聞いていますが、現状と今後の見通しについて伺います。また、その場合の管理人の役割について伺います。</p> <p>2 開発行為と防犯灯について</p> <p>(1) 開発行為時の業者への指導について</p>	<p>市長及び教育長</p> <p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>開発行為時における業者への一般的な指導内容を伺います。また、防犯灯についてはいかがでしょうか。</p> <p>(2) 町内会との話し合いについて 開発行為時に業者と地元町内会で話し合いの場を持たれているのかどうか伺います。また、防犯灯についての協議の有無についても伺います。</p> <p>(3) 町内会未加入地区の私道の防犯灯について これまで加入していた地区が未加入になる場合の既存の防犯灯の取扱いについて、現状と課題を伺います。また、通り抜け道路として利用されている場所などは、維持補修も含めて「特定私道」と位置付け、特別な配慮ができないか伺います。</p> <p>3 災害時における井戸の活用について (1) 災害用指定井戸の周知と活用について 災害用指定井戸の周知及び活用方法について伺います。また、防災訓練のメニューに井戸の活用を加えるなどの実績があれば伺います。</p> <p>(2) 井戸の新設について 大型公共施設や大型マンションの開発時に井戸を併設できないか伺います。また、その際、市の災害用井戸として指定し、近隣住民も利用できるようにすべきと考えますがいかがでしょうか。</p>	市長
3 鈴木 秀一	<p>1 黒目川左岸第9排水区の雨水対策の強化について 7月31日にゲリラ豪雨が発生し、新座市全域で大変な被害がありました。黒目川左岸第9排水区の石神4-7付近の一角は、大雨が降るたびに浸水被害が出ています。市民の方々は個人的に止水板を設置したり、雨水貯留槽を設置したりして努力していますが、雨水増補管の設置などの根本的な対策をとらないと、市民が安心して暮らせません。根本的対策を提案しますが、市の見解を伺います。</p> <p>2 ごみ集積所の不法投棄防止の強化について ごみ集積所の不法投棄で大変困っているとの声を頂いています。警察署と連携した不法投棄の罰金の看板や「不法投棄は犯罪です」という啓発看板等、必要とする集積所に設置する強化策を提案しますが、市の見解を伺います。</p> <p>3 改正道路交通法の徹底した周知の強化について</p>	市長 市長 市長

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>改正道路交通法が成立し、スマホのながら運転等の罰則が強化されます。トラブル防止のためにも、施行前に徹底した周知の強化をすべきと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>4 家計改善支援事業のPR強化について 物価高騰を背景にして家計のやりくりが大変な方が増えています。家計が赤字で大変になる前に、市の家計改善支援事業のPRの強化やYouTubeの動画の作成及び配信等、相談しやすい環境を作るべきです。事前に様々なアドバイスを施して困っている市民に手をさしのべることが大事と考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>5 嵯峨山通りの安全対策として車道に自転車ナビマークを設置することについて 嵯峨山通りの歩道を自転車が通り、歩行者が危ない光景を再三見たとの相談がありました。嵯峨山通りの車道に自転車ナビマークを設置することを提案しますが、市の見解を伺います。</p> <p>6 認知症行方不明者防止の強化について 認知症行方不明者数が11年連続で増加し、1万9千人を超えたとの報道がなされています。今後ますます認知症行方不明者の増加が懸念されます。新座市で認知症行方不明者を増加させないため、認知症の方へのGPS機器の貸出し事業の周知強化や、同事業に対する助成制度の創設を望みますが、市の見解を伺います。</p> <p>7 保養施設宿泊利用共同事業の周知強化について 新座市では、新座市国民健康保険及び新座市在住で埼玉県後期高齢者医療保険に加入している方は、健康の保持増進を図るため、埼玉県国民健康保険団体連合会が行っている保養施設宿泊利用共同事業の保養施設を利用することができます。高齢者の方を支援するため、周知強化を望みますが、市の見解を伺います。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
4 助川 昇	<p>1 電子黒板の普及と効果について</p> <p>(1) 今後の普及について 電子黒板の今後の普及の範囲について伺う。</p> <p>(2) 電子黒板の効果について 電子黒板は、新座市の教育の質を大きく高める効果が見込める教材と考えるがどうか。その効果の検証について伺う。</p>	<p>教育長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>2 デジタル市役所の実現について 書類を書かないデジタル市役所の実現に向けての構想と今後の見通しについて伺う。</p> <p>3 こもれび通りの歩道設置の進捗について こもれび通りの山下橋から市役所交差点までの歩道設置の進捗について伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
<p>5 伊藤信太郎</p>	<p>1 総合運動公園内のマレットゴルフコースの改修について</p> <p>ねんりんピック（全国健康福祉祭）は、高齢者を中心として、スポーツや文化種目の交流イベントなどを行いながら、全世代の人たちが楽しむことができる総合的な祭典です。昭和63年から毎年各県で開催しています。第38回となります令和8年度は埼玉県で開催することが正式に決定しました。</p> <p>そのうちの「ふれあいスポーツ交流大会」の一つでありますマレットゴルフの会場として、本市総合運動公園内のマレットゴルフ場が選ばれました。全国から集まる競技者に快く競技をしていただくことは勿論のこととして、本市からのシティプロモーションを推し進める面からも、もてなしを尽くすとともに、会場の整備を進めるべきだと考えます。</p> <p>また、新座市内には、新座市マレット協会があるほか、賛助団体が3団体あります。常時これらの団体が総合運動公園内のコースを利用していますが、そのほかに一般市民が親子連れでコースを回ったり、ぶらり1人でマレットゴルフを楽しんだりしています。気軽にプレーを楽しむことができるスポーツであることから、市民の中でマレットゴルフの裾野が広がってきています。それだけに、競技場所の充実と利用者の満足度を上げる方策が求められています。</p> <p>具体的には下記項目を推し進めるべきだと考えますが、市の見解をお聞きします。</p> <p>(1) 全コースの点検（OBラインの明確化、マット等）について</p> <p>(2) 全コース芝の点検と改修作業について</p> <p>(3) 東コース内へのトイレの設置について</p> <p>(4) 東西コースへの各1か所水飲み場の設置について</p> <p>(5) 移動通路へのスリップや転倒を防ぐ人工芝の敷設に</p>	<p>市長及び教育長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>ついて</p> <p>(6) その他安全対策に関することについて</p> <p>2 福祉政策の一環としての就労体験支援について 平成12年12月に新座市で、埼玉県で2番目となる「障がい者就労支援センター」が発足しました。当時、障がい者を含めた形での取組は珍しく、「新座方式」と言われて注目されました。現在もこの流れは続いており、庁舎内では年間約80名（総数）の就労者が携わっています。しかしながら、定型化された業務のみで、職員の交流も少なく、「福祉施設から一時的に外出して、市役所内の業務を体験することによって、将来の就業に繋げる」という主旨が欠如している状況になっています。また、「障がい者との接触を重ねることによって、職員の今後の職務に役立つ」という狙いからも遠ざかってしまっています。今後の方針について伺います。</p> <p>3 新座市の水道水とPFASの関係について 有害性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS）による水道水や水源の汚染が各地で見つかり、住民の不安が高まっています。政府は、全国の水道事業者に対して、今年9月末までに検出状況を報告するように求めています。国は、PFOA（ペルフルオロオクタン酸）とPFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）の合計で1リットル当たり50ナノグラム以下を水道水の暫定目標値に定めています。井戸水に依存する割合が高い本市だけに、独自で調査・管理が必要だと考えますが、市の対応を伺います。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
6 野中 弥生	<p>1 若年世代に対する献血啓発の推進について 少子高齢化の影響で若年世代の献血者が減少傾向にあり、将来的な供給不足が懸念されています。若者への献血啓発の推進について、市の見解を伺います。</p> <p>(1) 市内大学との連携について 市内の大学と連携して、学内での献血、学生への啓発を進めていただくようにできないか、市の見解を伺います。</p> <p>(2) 献血教育の推進について 16歳から献血ができるため、小・中学生での献血教育が重要です。厚生労働省では中学生を対象としたポスターが作成されているほか、日本赤十字社では</p>	市長及び教育長

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>小・中学生向け献血啓発冊子や動画が作成されています。様々な方策で子どもたちへの献血教育を推進していくべきと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>(3) 献血時の保育実施について 子育て世代へのアプローチとして、献血時の保育を実施してはどうか、市の見解を伺います。</p> <p>(4) 若年献血協力者へのポイント付与による動機付けについて 献血への継続的な協力を頂くため、ポイント付与等動機付けが必要ではないか、市の見解を伺います。</p> <p>2 ウォーキングのまち、新座市の推進について 介護予防、健康保持、SDGsへの観点から、歩くことが楽しいまちづくりが必要ではないか、市の見解を伺います。</p> <p>(1) ポイント活用アプリの周知について 歩くだけでポイントがたまるポイ活アプリの市民への周知により、幅広い層の健康意識の啓発ができるのではないか、市の見解を伺います。</p> <p>(2) SDGsの観点からのウォーキングデーの設定について 市全体として環境負荷の少ない公共交通機関や自転車、徒歩での移動をする日を設定してはどうか、市の見解を伺います。</p> <p>(3) 市庁舎、公共施設等への消費カロリー等の表示設定について 市職員や来庁者が階段で移動する動機付けとして、消費カロリーの表示や啓発ポスターの掲示をしてはどうか、市の見解を伺います。</p> <p>3 健康長寿ポイントのデジタル化について 健康長寿ポイントをデジタル化し、高齢世代への普及を進め、次の世代が利用しやすいものにしていくべきではないか、市の見解を伺います。</p> <p>4 コグニチェックリストの活用について 認知症の一次予防（認知症の発症遅延や発症リスク低減）のため、コグニチェックリストを活用してはどうか、市の見解を伺います。</p>	<p>市長及び教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
7 鈴木 明子	1 市制施行55周年の気運醸成について 市内企業や商工会、鉄道会社にご協力いただいて、下	市長及び教育長

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>記の事業を実施できないか伺います。</p> <p>(1) 限定メニュー等の販売・開発について 55周年商品や限定メニュー等、販売・開発をしていただける企業や商店等の募集をしてはいかがでしょうか。</p> <p>(2) 駅階段を利用した階段アートについて 一般市民の方や学生からイラストを募集し、市内駅の階段を利用した階段アートを施してはいかがでしょうか。</p> <p>(3) 鉄道の発車メロディーについて 市内駅の上下線ホームで新座市民の歌等を発車メロディーとして流してはいかがでしょうか。</p> <p>2 災害時のペット防災について 8月8日、日向灘を震源とする地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報が発表されました。地震はいつ発生するか分かりません。そこで、市の災害時指定避難場所でのペット同伴避難訓練やペットを飼っている方への防災セミナー等を実施してはいかがでしょうか。</p> <p>3 内水氾濫対策について 7月24日、31日、8月7日、豪雨と落雷等で被害が発生しました。今後の対策について伺います。</p> <p>(1) 公共下水道事業雨水整備10か年計画について 令和5年度から14年度までの計画で始まったばかりですが、進捗状況と効果について伺います。</p> <p>(2) 避難所開設の考え方について 県内で自主避難所を開設した市町村があります。既に冠水が始まっている場合、避難は難しいと思います。市での避難所開設に対しての基準や考え方を伺います。</p> <p>(3) SNSや防災無線での注意喚起や災害発生状況の情報伝達について 7月31日に市の公式ラインでは、下水の抑制について注意喚起が発信されました。災害情報の伝達・発信については、どのような状況でしたでしょうか。現状と今後について伺います。</p> <p>(4) 近隣自治体との連携について 志木駅や東北地域は、志木市、朝霞市と隣接しています。近隣市との連携についてしっかり取り組むべき</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>と考えます。市の考えを伺います。</p> <p>(5) 市の道路下に雨水貯留浸透システム等を導入することについて</p> <p>市の道路下に雨水をため、浸透させる貯留浸透槽等を設置し、雨水の流水抑制をすることはいかがでしょうか。</p>	
<p>8 谷地田庸子</p>	<p>1 こどもまんなか社会について</p> <p>(1) こどもの意見箱について</p> <p>こどもまんなか社会の実現のため、新座市を良くするためのアイデア、困っていること、伝えたいこと等、小・中学生等のこどもの声を積極的に市政に反映するためのこどもの意見箱を設置してはいかがでしょうか。市の見解を伺います。</p> <p>(2) こどもまんなか応援サポーターについて</p> <p>「こどもまんなか応援サポーター宣言」を市民・事業者・団体等に積極的に周知して、「こどもまんなか応援サポーター」に参加してもらう取組を行ってはいかがでしょうか。岡山県真庭市では、「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、今できる身近な「こどもまんなか」アクションに取り組んでいただくサポーターを募集しています。市全体で「こどもまんなか」アクションに取り組む気運の醸成を図ってはいかがでしょうか。市の見解を伺います。</p> <p>2 町内会等が開催する地域行事の活性化について</p> <p>高齢化で担い手が減少傾向にある町内会等の活動を支援するために、参加したい学生等と町内会等の両者を「マッチング」する仕組みにより、市内のお祭り等の地域行事の盛り上げに貢献する取組を行ってはいかがでしょうか。市の見解を伺います。</p> <p>3 「まご育て応援手帳」について</p> <p>核家族化や共働き世代の増加、地域社会のつながりの希薄化などの社会的背景のもとで、祖父母世代の力が期待されています。お孫さんとの関わりに参考にさせていただける「まご育て応援手帳」を作成してはいかがでしょうか。市の見解を伺います。</p> <p>4 市制施行55周年記念事業について</p> <p>市制施行55周年記念事業は、市制55周年という佳節に市を挙げてお祝いし、市民に新座市の魅力を実感</p>	<p>市長及び教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>し、愛着を深めていただく大事な記念事業です。東村山市では、市制60周年を市民と盛り上げ、市の魅力を発信するため、応援サポーターを募集しています。共創のまちづくりを推進するために、応援サポーターを募集してはいかがでしょうか。市制55周年記念事業の取組について、市の見解を伺います。</p> <p>5 BNP検査について 「BNP検査」とは、心臓の機能の健康度を測る血液検査です。BNPとは、心臓から分泌されるホルモンで、心臓の機能が低下して心臓への負担が大きいほど多く分泌され、数値が高くなります。心不全の早期発見・早期治療につなげるため、市民へ「BNP検査」の周知・啓発をすべきと考えます。また、医師が検査を必要と判断した方への検査費用助成についての市の見解を伺います。</p>	市長
9 笠原 進	<p>1 市長選挙の結果について 並木市長は前回比で約5,500票減らした。現市政に対する市民の批判が示されたと思う。並木市長はこの結果をどのように受けとめているか。3期目で改善すべき点をどう考えているか。</p> <p>2 市財政の認識について 市長選での出発式で、並木市長は「財政非常事態宣言の中で100億円ためた」と発言したとの新聞報道があった。市議会での市長の発言と違うのではないか。この市長発言の真意を問う。市財政の現状をどのように認識しているか。</p> <p>3 スズメバチの巣の駆除について 石神五丁目の人からスズメバチの巣の駆除を市に連絡したら、9,000円の支払を求められた。以前のように、市が全額負担して駆除すべきではないか。</p> <p>4 道路の改修工事について 石神五丁目の人から「家の前の道路が凸凹していて水がたまり、通る車のはねる水で被害を受けた。市に改善を求めたが、『この程度の道路は市内に多くある。予算が足りないので修繕できない』と言われた。改善してほしい」との要望を受けた。市内の道路状況はどうなっているのか。予算を増やして改善すべきではないか。</p> <p>5 障がい福祉の在り方について</p>	市長 市長 市長 市長



令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>山形県山形市では、防災意識向上のために防災フェスティバルに取り組んでいます。新座市でも防災フェアを開催しています。自分の地域の防災計画に関心を持ってもらう取組や、自ら防災組織の一員として取り組もうという啓発についてどのように考えていますか。</p> <p>(2) 要配慮者への対応について 市が作成した避難行動要支援者の名簿を各自主防災組織が管理しています。自主防災組織が作成する地区防災計画に盛り込む項目として「要配慮者の保護等地域で大切なことの整理」とあります。また、自主防災組織は、避難行動要支援者の個別避難計画を定めることになっています。自主防災組織にとっては、重い課題だと考えます。計画を作成するためには、市の支援が必要だと考えます。どのようにお考えでしょうか。</p> <p>(3) 避難拠点の備品について 能登半島地震では、避難所によって、防災備品の差がありました。食糧備蓄ゼロの避難所もあり、SNSでは「避難所ガチャ」という嘆きが投稿されました。市内41か所ある避難拠点の防災備品はどのようになっていますか。</p> <p>(4) 防災グッズの配布について 市民の命を守る施策が必要です。家具転倒防止器具などの防災グッズの無料配布支援を復活させるべきではないでしょうか。</p> <p>3 ゲリラ豪雨について</p> <p>(1) ゲリラ豪雨災害について 7月31日にゲリラ豪雨が発生し、市内各地で被害がありました。台風や線状降水帯と違い、予測が難しい災害です。どのように対応されましたか。今後のゲリラ豪雨への対応はどのように考えていますか。</p> <p>(2) 災害見舞金について 床上浸水があった世帯に3万円の災害見舞金が支給されます。単身世帯は半額となっています。単身世帯に対して減額せずに支給すべきではないでしょうか。また、朝霞市では1世帯5万円の給付となっています。支給額の増額は考えないのでしょうか。</p> <p>(3) 汚水の逆流について</p>	市長

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>7月31日に発生したゲリラ豪雨によって、新座二・三丁目地域では、伏せ越し施設の手前で汚水の逆流が起きました。原因をどのように把握していますか。汚水の逆流が起らないための対策はどのように考えていますか。</p> <p>(4) 溢水対策について</p> <p>市内全域で床上・床下浸水など多くの被害が出ました。溢水の原因をどのように捉えていますか。対策が必要だと考えます。調整池や雨水浸透柵の整備、止水板の設置補助など対策を講じるべきではないでしょうか。</p> <p>4 柳瀬川の土手の草刈りについて</p> <p>9月10日頃に柳瀬川に彼岸花が咲きます。柳瀬川の土手は、すぐそこ新座まちあるきマップにも彼岸花がきれいに咲く地域として掲載されています。8月末から9月上旬までに草刈りを行って彼岸花が観られるようにすべきではないでしょうか。</p> <p>5 高齢者へのバス・タクシー利用料補助について</p> <p>高齢者への外出支援が多くの自治体で行われています。バス・タクシー等、公共交通機関の交通費助成制度を実施すべきではないでしょうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
11 小野由美子	<p>1 畑中児童遊園のトイレについて</p> <p>畑中児童遊園は、木陰が多くあり夏場も多くの子どもが遊んでいます。畑中二丁目の県道保谷志木線側には大きい公園がなく、古くからある公園でもあり、地域の方たちにはとても親しまれています。小さな子どもとともに、大人も訪れています。しかし、公園内にはトイレが設置されていますが、利用しにくいとの声がありました。また、町内会の掲示板とトイレの間が狭く、段差があります。老朽化も目立ちますので改修ができないでしょうか。</p> <p>2 近年の内水氾濫の避難行動と市の対応について</p> <p>(1) ハザードマップについて</p> <p>近年、ゲリラ豪雨による内水氾濫が多発しています。大雨や地震を想定している「新座市ハザードマップ」はありますが、「内水氾濫による避難をどうしたらよいか」との声が多く寄せられました。新座市のハザードマップに新たに盛り込むなどの対策はとれな</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>いでしょうか。</p> <p>(2) 市民への周知について 市民から「内水氾濫で床上又は床下浸水をしてしまった時、新座市はどのような対応をしてくれるのか」との声が寄せられました。ホームページにはとても詳しく載せていただいておりますが、ホームページを見ることができない市民も大勢います。土のうが非常時に必要な時や、被災した時の対応など、市民に分かりやすいように一覧表にして、「広報にいざ」に掲載するなど多くの市民に周知することはできないでしょうか。</p> <p>3 住宅リフォーム助成制度について 住宅リフォーム助成制度は、市民との対話で「本当に復活してほしい」との声をお聞きします。議会での一般質問でも度々取り上げていますが、市民の声をお聞きし、再度質問させていただきまます。この住宅リフォーム助成制度を復活できないでしょうか。</p> <p>4 新座市で終戦80周年記念行事を計画することについて 来年は日本の終戦から80年に当たります。平和について改めて考えなければならないと思います。世界では、今でも戦争が起こり、多くの命が失われています。そのような中、新座市も市制施行55周年という節目にも当たりますので、終戦80周年を記念する行事を計画できないでしょうか。</p>	市長 市長
12 堀内 博史	<p>1 自転車安全利用ルールの普及について 自転車は原則車道の左端を走行しなければなりません。また、ヘルメットを装着する努力義務が課せられています。しかし、現実にはまだ多くの自転車が車道よりも歩道を走り、スピードを上げて走行する自転車をよく見かけますし、ヘルメットをかぶって運転している人もそう多くありません。私に、歩道を走る自転車で怖い思いをした、何とかしてほしいとの市民の声が届いています。この自転車安全利用ルールの普及のために、二つの側面から提案します。市の見解をお聞きします。</p> <p>(1) ヘルメット装着について 市でもいろいろな方策を考えていると思いますが、私も何点かご提案します。</p>	市長

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>ア 子育てママを次のターゲットとすることについて 子どもたちへの安全教育が進む中、次のコアターゲットはお子さんをお持ちの子育てママにする。併せて、広報紙などを通じて帽子型のヘルメットを紹介するとともに、実物を市役所に展示してはどうか。</p> <p>イ 議員と市職員が一丸となって啓発することについて 議員、市職員は率先してヘルメットを装着して、両者が一丸となって情報発信していく。</p> <p>(2) 自転車安全利用の現実対応について 自転車は原則車道の左端を走行することになっていますが、例外時には歩道走行が可能です。このルールがしっかり市民に伝わっていないのではないのでしょうか。それに合わせて、歩行者優先についてもっと具体的に啓発すべきと思います。そのルールと歩行者優先の具体的対応方法が共通理解されていないことが不安やトラブルを起こす要因だと考えます。 そこで、自転車安全利用五則の1番「車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先」の細則として歩道走行時の標語を考えました。 「新座市自転車歩道走行思いやり・ゆずりあいルール」 ①例外で歩道走行時は歩行者優先・道路側徐行運転 ②歩行者とすれ違う時は道を譲るか一旦停止 ③歩行者を追い抜くときは事前に声をかける この文言が普及すれば、自転車が例外的に歩道を走行する場合も、歩行者の安全が保たれ、トラブルが抑えられるのではないのでしょうか。 この提案について、市の見解をお伺いします。</p> <p>2 ゲリラ豪雨対策について 7月31日の夕方、新座市にゲリラ豪雨が発生し、各地区に被害が発生しました。台風と違い予測の難しい状況であったと理解していますが、今後も起こりうる可能性が大いにあるとして、市の対応についてお伺いします。</p> <p>(1) 危機管理について 7月31日のゲリラ豪雨発生時はちょうど終業時間</p>	<p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>帯でしたが、すぐに関連部署、消防団等に待機指示を出して対応に備えたと聞いています。今回のゲリラ豪雨に対する市の危機管理の自己評価についてお伺いします。また、今後の対応について、新たに検討される対応があればお伺いします。</p> <p>(2) 大和田地区の水害について</p> <p>大和田地区は大和田公民館の床上浸水をはじめ、19件の床上浸水が報告されています。特に、大和田一丁目のセブンイレブンから大和田五丁目の大和田児童遊園のエリアは水がたまりやすく、過去にも数回水の被害が発生していると聞いています。</p> <p>市の治水対策について、特にこの大和田地区について、今後どのように進めていくのか、お尋ねします。</p> <p>3 手話言語条例の制定について</p> <p>手話に特化した手話言語条例を制定すべきとの立場で質問をします。</p> <p>埼玉県にある63の市町村中、手話言語条例が制定されている市町村は45市町村であり、これは全体の71.4%に当たります。また、埼玉県も手話言語条例を制定しています。</p> <p>皇室秋篠宮家の佳子内親王が2021年（令和3年）に全日本ろうあ連盟に非常勤嘱託職員として就職され、昨年（2023年）8月27日の「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」において、手話のみであいさつをされました。</p> <p>そして、来年（2025年）11月15日は日本で初めての第25回デフリンピックが東京で開催されます。</p> <p>このように日本を取り巻く環境は、言語としての手話を広く普及していく大きな流れが来ていると言えます。新座市もこのような状況下で手話言語に特化した条例制定に取り組むべきと考えますが、市の見解をお伺いします。</p>	市長
13 伊藤智砂子	<p>1 「新座市エコライフデー」及びエコライフデーチェックシートの取組の更なる充実について</p> <p>令和4年5月20日、新座市は「ゼロカーボンシティ」の表明を行い、ゼロカーボンシティ実現のために様々な取組を推進しています。取組の一つとして実施している「新座市エコライフデー」については、実践期間</p>	市長

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>の見直し及びQRコードで回答できるエコライフデーチェックシートにするなど、より多くの市民が活用できる取組にしてはいかがでしょうか。市の見解を伺います。</p> <p>2 市営運動場等の更なる活用の拡充について 市営運動場は、スポーツ、レクリエーション活動等を目的とした多くの団体の方が活用されています。一方で、親子や仲間同士でキャッチボールができる場所は限られております。市営運動場等の利用目的及び利用要件を見直し、キャッチボールができる場所の確保をしてはいかがでしょうか。</p> <p>3 通学路でもある市道第8074号線の安全対策について 市道第8074号線は、朝の児童・生徒の通学時と夕方時間帯は特に車の通行量が多く、道路の途中で幅員が狭くなります。練馬区側から新座市側へ通行する際に、幅員の狭いところを抜けると、幅員が広がる箇所から猛スピードで走る車も多くなり、大変に危険であると住民から安全対策を求める声を頂きました。 スピード違反の取締り及び速度抑制となる対策をすべきと考えます。市の見解を伺います。</p> <p>4 公園の維持管理及び安全確保について 市が維持管理している公園が安全で整備された環境にあるためには、遊具等設備の不具合や雑草の繁茂、点灯していない園内灯など、市民の皆様から情報を頂くことは重要と考えます。市民の皆様が通報できるシステムの周知と活用による公園の安全確保について、市の見解を伺います。</p> <p>5 終活に関する支援の更なる充実について (1) 高齢者の終活全般に関する相談窓口の設置について 豊島区では区内在住のおおむね65歳以上の方とそのご家族の方を対象として、終活の始め方、医療、介護、財産、葬儀、相続、遺言、住まい、エンディングノートのこと等、終活に関連することについて、専門職の相談員が対応する相談窓口が設置されています。本市も終活全般の総合相談窓口を設置すべきと考えます。市の見解を伺います。 (2) 一人暮らしの高齢者の支援について</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>国は、65歳以上の単身世帯は2020年の738万世帯から2050年には1.5倍の1,084万世帯に増えると推計しています。</p> <p>生前に葬儀や遺品整理などに関する意向を聞き、死後に備えてもらう終活登録カードを作成して終活サポートをしている自治体もあります。本市も終活登録カードの作成を終活支援に加えるべきと考えます。市の見解を伺います。</p> <p>6 人生会議（ACP）の更なる普及促進について</p> <p>厚生労働省の資料によると、もしものときのために、自身の望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組は「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」と呼ばれています。</p> <p>(1) ACPの普及啓発を目的とした市民講座の開催について</p> <p>若い世代の方にもACPを周知するために市内の大学と連携をして、ACPのリーフレット配布及び講座開催をしてはいかがでしょうか。</p> <p>(2) 人生会議の出前講座で実施している「もしバナゲーム」の周知について</p> <p>「人生の最後にどうありたいか？」の話をするアメリカ発祥のゲーム「もしバナゲーム」のYouTubeを、ACPの普及促進のために作成してはいかがでしょうか。</p>	<p>市長及び教育長</p>
<p>14 田口 訓子</p>	<p>1 行政評価について</p> <p>(1) 内部評価について</p> <p>ア 事務事業評価について</p> <p>事務事業評価の方法と課題について伺います。</p> <p>イ 施策評価について</p> <p>施策評価の方法と課題について伺います。</p> <p>ウ 内部評価の振り返りについて</p> <p>評価の形骸化を防ぎ、行政評価事務の効率化を図るため、内部評価実施後の振り返りを行い、改善につなげてはいかがでしょうか。</p> <p>(2) 予算編成への活用と効果について</p> <p>P D C Aに基づき事業の評価を適正に行い、施策の実現に近づけるという理論と、予算配分という仕組み</p>	<p>市長</p>



令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>ひとり暮らし高齢者等と離れて暮らす家族の見守り支援として、トイレや廊下に設置したLED電球と通信機能が一体となった「見守りライト」の点灯・消灯の情報から異常を察知して家族又は福祉関係者等に通知することができるシステムを導入してはいかがでしょうか。</p> <p>4 大和田水辺の丘公園の駐車場拡大と「にいバス」を利用しての公園利用について</p> <p>本年7月にプレオープンした大和田水辺の丘公園が大変好評で大賑わいです。一方で、自動車駐車場及び自転車駐車場が不足しているとの指摘を頂いています。来年4月のオープンに向けて駐車場を拡大してはいかがでしょうか。また、「にいバス」を利用して大和田水辺の丘公園に行けるよう、ルートを変更して付近にバス停を設置してはいかがでしょうか。</p>	市長
16 川村よしひさ	<p>1 HPV（子宮頸がん予防）ワクチンとがん検診について</p> <p>(1) 予防接種健康被害救済制度の状況について</p> <p>HPVワクチン接種が始まった2011年から直近までの累計についてお尋ねします。HPVワクチンとその他の予防接種ワクチン（ただし、特例承認又は緊急承認された遺伝子製剤、いわゆる通称コロナワクチンを除く。）それぞれの累計申請件数及び累計認定件数と、それぞれの累計接種回数、また、重篤な副反応と認定されたケースがあるのか伺います。</p> <p>(2) 男性へのHPVワクチン接種について</p> <p>東京都のように小学6年生から高校1年生までの男性に接種を薦める予定はあるのか伺います。また、ある場合には医学的根拠をお尋ねします。</p> <p>(3) HPVワクチン接種後の相談窓口について</p> <p>市のホームページで、接種後の健康に異常があった時の窓口として案内されている埼玉県の協力医療機関において、診断も治療も受けることができなかつたと市民から相談された場合、どのように対応されるのか伺います。</p> <p>(4) HPVワクチンの副反応リスクとがん検診の情報発信について</p> <p>市から発信するリスクの情報は、栃木県足利市のホームページにある「積極的勧奨の経緯」「ワクチン</p>	市長

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>接種後に生じた多様な症状」のように具体的な情報を掲示すべきだと考えます。また、ホームページより重要なのは、対象者宛てに郵送される通知であり、何も知らない市民に向けて想定されるメリット、実際に起きたリスク、また、がん検診という別の選択肢が偏りなく伝わる工夫をすべきだと思いますが、市の考えを伺います。</p> <p>2 子どもたちと農業を守る学校給食について</p> <p>(1) 大規模地震への備えとしての食料供給体制について            新座市の食料自給率はカロリーベースで1%、埼玉県で10%、関東1都6県で14%であり、種、農薬、化学肥料を国内生産で試算すると関東圏で実質3%程度です。現在は輸入と国内物流が正常なことを前提とした構造であり、大規模地震等が起こった時の食料供給体制は、各地域で平時から整備する事が重要だと考えます。学校給食で使用する食材を県内産に限定したとき、現状どのくらい供給できているかお尋ねします。また、目指すべき県内産食材使用の割合や、そのための取組など、市の考え方を伺います。</p> <p>(2) 給食物資の納入規格で生産者を支える取組について            野菜なら形や大きさがそろった規格への対応、泥を落としてからの納入、当日朝複数の学校への納入などは、生産者や調理者など関わる方たちの協働が重要かと思えます。例えば、規格外のため市場販売できない野菜も納入できる体制の整備や、前日納品に全校が対応できる環境は、市内又は県内生産者の支えにつながるのか、また、進めた際の課題や懸念は何か、市の考え方を伺います。</p> <p>(3) 給食物資の安全検査による生産者の販売支援について            市でも学校給食に使用する地元農産物を対象とした残留農薬検査を行い、「安全でおいしいと評判の給食に使っている野菜」を市場でブランドとして販売できるよう、広報での支援も含めて取り組むのはいかがでしょうか。市の考え方を伺います。</p> <p>(4) 更なる地産地消の促進について            地場産物使用促進事業を活用し、一次加工や長期保存が可能な設備への投資や、加工業務の委託を検討し</p>	<p>市長及び教育長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>てはいかがでしょうか。例えば、川越市では、旬の時期にとれた野菜を大量に購入し、一次加工して冷凍保存しておくことで価格の抑制と生産者支援につながっています。また、東京都日野市では、ソース類製造業の営業許可取得により、規格外野菜を安く仕入れて一次加工し、無添加のトマトピューレなどを給食に利用しています。市で長年守ってきた給食の質を、物価上昇下でも極力維持するための取組として、また、市内農業従事者を少しでも支援する取組としていかがでしょうか。市の考え方を伺います。</p>	
<p>17 石島 陽子</p>	<p>1 国民健康保険税の引下げについて  国民健康保険には他の健康保険には無い均等割があり、収入の無い子どもに人数分の均等割が賦課され、子どもの人数が多いと保険税が高くなり、子育て支援に逆行しています。群馬県渋川市や滋賀県米原市では、子育て支援支援金を支給して18歳以下の子どもの均等割を減免しています。新座市でも子育て世帯の経済的負担を軽減するべきです。また埼玉県に対して、県として低所得者と子どもの均等割減免を行うよう求めるべきと考えますが、その考えはあるでしょうか。</p> <p>2 健康保険証の新規発行終了問題について  マイナンバーカードを保有する、しないは任意であるにも関わらず、マイナ保険証の利用率が低い状況の中で、政府は12月2日以降、健康保険証の新規発行を終了するという宣伝をしています。今の保険証が使えなくなってしまうのか、不安を感じている市民に対して、資格確認書が届くのであわててマイナ保険証にしなくても大丈夫であること、また10月からマイナ保険証を解除する受付が行われること等を、広報で周知するべきではないでしょうか。</p> <p>3 妊婦歯科検診助成制度の創設について  妊娠中はつわりにより歯磨きが十分にできないことや、ホルモンバランスの変化により、虫歯や歯周病が発生・進行しやすくなります。また、早産や低体重児の出産リスクが高まります。これらを防ぐために、妊婦歯科検診の無料化や、検診費用を助成している自治体が県内でも多数あります。新座市でも助成する考えはないでしょうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>4 こども誰でも通園制度について            国は2026年度から全国の自治体で、保育所等に通っていない6か月から2歳児までの子どもを、保護者の就労の有無に関わらず施設で預かる「こども誰でも通園制度」を実施するとしています。対象になる施設は保育施設だけではなく、空き店舗等も可能です。通常保育に比べて、子どもが環境に慣れることが難しいといった課題もあると言われてしています。制度の検討に当たっては、現場の意見を丁寧に聞いて、子どもの命や安全が保障される制度にする必要があります。新座市ではどのように検討しているのでしょうか。</p> <p>5 保育士の人材確保、処遇改善について            保育士の処遇改善のため、所沢市では月額2万8千円、戸田市では3万4千円、さいたま市では月額換算で約1万6千円を給与に上乗せする補助を実施しています。新座市では月額1万円の補助がありますが、何年も補助額が変わりません。アップする考えはないのでしょうか。また、埼玉県が実施する保育士の奨学金返済支援を導入する考えはないのでしょうか。</p> <p>6 八石小学校校庭のゲリラ豪雨対策について            ゲリラ豪雨時、八石小学校の校庭からフェンスを越えて雨水が流れ出て、住宅との間の中沢用水の蓋掛けの部分が川のような状態になるとのことです。改善できないのでしょうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長及び教育長</p>
18 黒田 実樹	<p>1 公契約条例の制定について            公契約条例とは、公共事業の現場で働くすべての労働者に対して、最低基準となる労働条件を保証することです。公共工事や業務委託契約、指定管理者制度も公契約に含みます。市民がよりよい公共サービスを受けるためにも有効で、2023年7月の時点で10県を含む全国80以上の自治体で制定が進んでいます。公契約条例制定に対する市の考え方、検討の状況を伺います。公契約条例の設置について考える行政、業界、労働者の3者が参加する検討委員会を設置してはどうでしょうか。            （資料要求：公表された労働賃金調査結果）</p> <p>2 学校給食費無償化について            新座市が無償化に踏み切ることが県を動かし国に無償化を制度化させることにもつながります。学校給食費の</p>	<p>市長</p> <p>市長及び教育長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>無償化を実施してはいかがでしょうか。</p> <p>3 手話言語（日本手話）の理解促進と普及について 手話言語条例の制定について考えを伺います。現在手話通訳者の配置が金曜日は不在になっています。手話通訳専任の正職員を採用してはどうでしょうか。遠隔通訳、筆談、音声認識対応可能なタブレットの導入についての見解を伺います。市の動画に手話通訳を挿入したり日常会話を学べる手話動画の配信など、市民に広く普及させる取組を進めてはどうでしょうか。手話講習会に上級講座を増やすなど充実してはいかがでしょうか。 （資料要求：県内で手話言語条例を制定している自治体一覧）</p> <p>4 障がい者等のコミュニケーション支援の推進について 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法を踏まえ、コミュニケーション支援条例を制定してはどうでしょうか。 コミュニケーション支援ボードの作成と窓口への設置を進めてはいかがでしょうか。 ヒアリンググループの普及促進と、貸出し用の機器を導入することについての見解を伺います。 手話、要約筆記、点字等のボランティア講座を充実させてはどうでしょうか。 要約筆記派遣事業についても積極的に周知を図ってはいかがでしょう。</p> <p>5 緊急連絡システムの充実について 一人暮らしの高齢者が増える中で、急病や事故などの緊急時にボタンを押すと自動的に消防署に通報できる緊急連絡システムは市民から高く評価されています。高齢者見守り通報機能を周知してはどうでしょうか。固定電話だけではなくスマートフォンでも対応できる機器の導入を始めてはいかがでしょうか。 （資料要求：緊急連絡システムの設置件数、緊急連絡発動件数）</p> <p>6 みどりのまちづくり奨励金の復活について 平成17年から休止しているまちづくり奨励金は、保存樹木等の管理及び維持に要する費用の一部を助成するものです。みどりの基本計画の基本方針には、第一に「みどりを守る」ことが謳われています。日々みどりを</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>守るために奮闘している市民のためにも再開してはどうでしょうか。</p> <p>（資料要求：市指定保存樹木等一覧表）</p> <p>7 ゼロカーボンシティに関する施策の推進について                      ゼロカーボンシティ関連事業の実施状況について伺います。好評のエアコンの設置補助は申請日初日に予算上限に達してしまい、希望したのに受けられなくて残念だったというお話もお聞きしました。より多くの市民が環境対策に取り組めるように見直してはどうでしょうか。</p>	市長
19 よねはし ゆうた	<p>1 郷土愛を育む取組について</p> <p>(1) 小・中学校での取組状況と今後について                      郷土愛を育む施策の一つとして、新座市民の歌、新座市民健康体操の活用が有効と考える。小・中学校での取組状況と今後について伺う。</p> <p>(2) 市役所の電話保留音について                      郷土愛を育む施策の一つの方法として、より多くの市民が「新座市民の歌」に親しみを持てるような取組を講じてはどうか。例えば、埼玉県庁のように、電話保留音を市民の歌にしてはどうか、市の見解を伺う。</p> <p>2 農業支援について</p> <p>(1) 気候変動の実情に即した支援体制（補助メニュー）の見直しについて                      線状降水帯や気温の上昇、強風の影響など、現代の気候変動社会に即したものとなるように都市農業の支援体制（補助メニュー）を見直してはどうか、市の見解を伺う。                      （資料要求：過去15年間の都市農業補助メニューの変動一覧）</p> <p>(2) 野生鳥獣対策について                      鳥獣被害予防のために必要な対策の支援について、ネット等の購入補助を講じてはどうか、市の見解を伺う。</p> <p>3 アーバンスポーツの推進について                      暫定整備として運営されている大和田多目的運動場の今後の整備について、再整備にはアーバンスポーツを主軸に検討をしてはどうか、市の見解を伺う。</p> <p>4 都市高速鉄道12号線の延伸について</p>	<p>市長及び教育長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>(1) 埼玉県、東京都との連携状況と今後について  埼玉県は「あと数マイルプロジェクト」の中で最新の状況を踏まえた延伸ルートの精査を行っているとの認識している。これまでにどのような話合いがあり、どのような支援を受けているのか、今後はどのような支援を県に求めていくのか、県から支援ができる内容はどのようなものであると連絡が入っているのかを伺う。例えば、「土地区画整理事業を行いたい」など、県に相談や支援を求めてはどうか。連携の進捗状況と今後について、市の見解を伺う。</p> <p>また、東京都では都知事選挙を終え、現職知事が3選目を果たし、新たな船出が始まっている。市と埼玉県が進めている現状と、延伸課題の解決に向けた進捗状況の報告や意見交換などは、どのように図られているのか、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 新座市都市高速鉄道12号線建設促進基金の積立状況と今後について  同建設促進基金の積立状況と、積立に関する目標額の設定について伺う。例えば、まちづくり構想案の更新時を目標に、建設促進基金の積立目標額を検討してはどうか、市の見解を伺う。</p> <p>5 市道損傷等の修繕状況と今後について  (1) 堀ノ内地区の修繕状況と今後について  市道第7001号線、第7016号線（起点から終点まで）の修繕を求める市民の声があとを絶ちません。対応を願いたく、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 畑中公民館通りの修繕状況と今後について  道路表示を含む経年劣化の激しい畑中公民館通りの修繕状況と今後について、市の見解を伺う。</p> <p>6 防犯対策について  東京都（練馬区・西東京市・清瀬市・東久留米市）及び志木市では犯罪発生抑止力が期待されている防犯カメラの設置が進められている。犯罪を未然に防ぐ効果のある防犯カメラを本市も積極的に設置すべきと考えるが、市の見解を伺う。また、通学路に防犯カメラを設置すれば児童・生徒の安全性が高まると考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>7 新座市立第三中学校通学路の整備状況と今後について</p>	<p>市長</p> <p>市長及び教育長</p> <p>市長及び</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>中学校から市場坂橋に続く黒目川沿いの遊歩道が通学路となっているが、夏季以外の下校時に「暗くて怖い」、「娘の下校時は暗くて不安」と、生徒及び保護者の方からご意見が多々寄せられている。そこで、当該通学路における街路灯の整備状況と今後について伺う。</p> <p>8 小・中学校教育設備の今後について</p> <p>プール授業の業務委託により使用されなくなった設備の活用状況と今後について伺う。例えば、狭隘化で困難を抱える放課後児童保育室等の新設整備等や防災備蓄品の備蓄場所にしてはどうか。有効活用すべきと考えるが、市の見解を伺う。また、今後のプール授業業務委託を検討している小・中学校があれば、同様に設備の有効活用を検討してはどうか、市の見解を伺う。</p>	<p>教育長</p> <p>市長及び教育長</p>
20 片山 敏子	<p>1 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について</p> <p>(1) 小・中学生への認知症サポーター養成講座について</p> <p>認知症に関する知識及び理解を深める取組として、小・中学校の児童・生徒を対象にした認知症サポーター養成講座を更に取り入れてはいかがでしょうか。</p> <p>(2) 認知症サポート事業所ステッカー事業の周知と推進について</p> <p>現在、薬局、介護事業所、地域包括支援センターなどの事業所にステッカーが交付されておりますが、認知症の方が立ち寄りそうなコンビニエンスストアや郵便局、商店などにも認知症サポート事業所ステッカー事業を周知し、事業の更なる推進を行ってはいかがでしょうか。</p> <p>(3) ユマニチュードの普及について</p> <p>ユマニチュードは、認知症の人に寄り添うケア技術です。市のホームページや広報などでユマニチュードをPRしてはいかがでしょうか。また、市民講座などを実施して、多くの方にユマニチュードを知っていただいてはいかがでしょうか。</p> <p>2 女性の視点を取り入れた防災の取組について</p> <p>(1) 女性を対象とした出前講座などの更なる実施について</p> <p>女性や子どもの自助による備蓄用品や、避難所での過ごし方の注意点など、災害が起きる前に知っておきたい知識などを多くの方に知ってもらうため、女</p>	<p>市長及び教育長</p> <p>市長</p>



令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>とは、子どもたちの成長過程、郷土愛を育む観点や、地域の自治、ボランティア活動にも良い効果が得られる取組と考えます。今後、高校入試選抜も変更がある中でその可能性について伺います。</p> <p>3 浸水対策について          令和6年7月31日の大雨と浸水対策について伺います。</p> <p>(1) 令和6年7月31日の大雨について          令和6年7月31日の大雨について伺います。</p> <p>ア 被害状況等について          被害状況、被害額、災害復旧費用について伺います。</p> <p>イ 浸水要因の分析について          浸水の要因分析と地域ごとの課題、特徴について伺います。</p> <p>(2) 浸水対策強化について          気候変動を踏まえた浸水対策は、ハード対策とソフト対策を組み合わせた総合的な対策を推進する必要があると考えます。以下の点について市の考えを伺います。</p> <p>ア 総合治水対策の推進について          総合治水対策を推進するための基本方針、推進計画の策定や新座市雨水管理総合計画の見直しについて伺います。</p> <p>イ ハード対策について          雨水流出抑制、流域対策の強化、拡充について伺います。また、浸水被害が深刻な地域における下水道（雨水）整備強化、雨水流出抑制施設の設置について、市の考えを伺います。</p> <p>ウ ソフト対策について          土のうステーションの増設、高床式住居等の自主対策への支援、内水ハザードマップの作成・公表、気象情報・災害情報等の提供などソフト対策の更なる推進について伺います。</p> <p>(3) 国、県の支援について          浸水対策を加速化するため、国、県との連携により、財政支援制度を活用できないか伺います。</p>	市長
22 高邑 朋矢	1 子宮頸がんワクチンについて	市長

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>子宮頸がんワクチンによる副反応の被害が拡大しています。多くの若い女性が副反応に苦しんでいます。誰も責任を取ろうとしません。市も広報などでワクチン接種を薦めるべきではありません。市の考えを伺います。</p> <p>2 新型コロナワクチンについて                      新型コロナワクチン接種による認定死亡者数が700人を超えました。副反応による被害も激増していて、裁判も起きています。市民にそういう情報を伝えることが大切な市民を守ることに繋がると思います。市の考えを伺います。</p> <p>3 障がい者を含めた総合防災訓練の実施及び障がい者団体発行のチラシの設置について                      障がい者を含む防災訓練や福祉避難所開設の訓練についての市の見解を伺います。また、障がい者が孤立しないように、東久留米市のように市庁舎ロビーに障がい者団体が発行する会報等のチラシを置いて欲しいという要望があります。市の見解を伺います。</p> <p>4 障がい者の市役所での職場体験について                      障がい者の市役所での職場体験を求める声が上がっています。障がいの程度に関わらず、市役所で職場体験することは、市の職員にとっても市民にとっても貴重な体験になると思います。市の考えを伺います。</p> <p>5 黒目川の看板について                      栗原橋付近の黒目川は、夏になると子どもたちの格好の遊び場所になります。しかし、自転車が道路を塞ぐように停めてあったり、ごみを落としていたり近隣住民に迷惑をかけることもあります。注意喚起の看板を設置できないでしょうか。</p> <p>6 公園について                      栗原公園は大人がゲートボールを楽しみ、子どもたちはボール遊びが禁止されている実に不思議な公園です。栗原一丁目公園はボール遊び禁止という看板がありますが、栗原一丁目第二児童遊園には看板がないので、子どもたちは自由にボールで遊ぶ、微笑ましい光景が見られます。また、公園によって草刈りなどの整備がされている公園と全くされていない公園があります。なぜ、こういうことが起きるのでしょうか。市の考えを伺います。</p> <p>7 栗原一丁目公園のトイレについて</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>栗原一丁目公園にはトイレがありません。目の前の黒目川は児童・生徒に大変人気のある場所です。公衆道徳的にもトイレは必要です。市の考えを伺います。</p> <p>8 貝沼のバス停について 貝沼のバス停の改良を求める声が多く聞こえてきます。またバス停近くの横断歩道に押しボタン式信号機をつけて欲しいという要望もあります。市の見解を伺います。</p> <p>9 紙の保険証の廃止について 紙の保険証が近い将来廃止されることで、多くの人が悩んでいます。市独自で紙の保険証を存続させることはできないでしょうか。</p> <p>10 土のうのサイズについて ゲリラ豪雨による内水氾濫が市内のあちこちで起きています。土のうステーションに置いてある土のうのサイズが大きすぎて、重すぎて使い勝手が悪いと思います。もう少しサイズを豊富にして、小さいもの、軽いものを揃えることはできませんか。</p> <p>11 奨学金について 学費の高騰は子育て世代にとって悩みの種です。50年前は月に1,000円から3,000円だった国立大学の学費が今は年額50万円を超え、更に値上げをしようという動きがあります。新座市独自で奨学金を出すタイミングだと思いたいますがいかがでしょうか。</p> <p>12 熱中症対策について 小・中学校での熱中症対策は十分だったでしょうか。相変わらず体操服のシャツを短パンに入れるように指導したり、授業中の水分補給に制限をつけたりしている学校もあるようです。子どもたちの命に関わることでありますから、臨機応変に対応すべきと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>13 給食の安全性について 新座の給食は美味しいと評判のようですが、安全性はどうでしょうか。EUでは禁止されているような農薬、遺伝子組換え作物、添加物が日本には大量に輸入されていますが、新座市の学校給食は安全な食材だけを使っているのでしょうか。また、その検査体制はどうなっていますか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長及び教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>14 複数担任制について 全国で複数担任制の学校が増えています。「複数担任制」に対する市教育委員会の見解を伺います。</p> <p>15 全国学力テスト結果について 令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。新座市の小・中学校の状況の変化を市教育委員会はどのように捉えていますか。 （資料要求：過去10年間の学習状況の推移）</p> <p>16 英検受験者や合格者数の変化について 英語教育に力を入れてきた新座市ですが、英検の受験者数や合格者数は揃っているのでしょうか。どのような変化があるのでしょうか。 （資料要求：過去10年間の英検受験状況の推移）</p> <p>17 PTAについて 市内の学校にも完全ボランティア制のPTAがあるようです。また、個人情報保護法の観点からもPTAには最低でも「入会届」は必要だと思います。市教育委員会の見解を伺います。</p> <p>18 夏休みの宿題について 市内小・中学校の「夏休みの宿題」を市教育委員会は把握していますか。意味のない宿題も相変わらず多く、とても学力向上につながるとは思えません。市教育委員会の見解を伺います。</p> <p>19 デジタル機器の成果と課題について デジタル黒板、デジタル教科書、児童・生徒一人に1台のタブレット端末が普及しています。プラス面も勿論ありますが、マイナス面も出てきていると思います。市教育委員会はどのように捉えていますか。</p> <p>20 学校でのマスクの着用と香害への指導について 市内小・中学校での児童・生徒のマスクの着用率はどのようになっているのでしょうか。不織布マスクのマイクロプラスチックや接着剤を吸引してしまうことによる子どもたちの健康が心配です。マスクのマイナス面を学校では子どもたちに伝えてありますか。また、小・中学校で香害についての指導はされているのでしょうか。啓発ポスターなどを貼ってある学校はありますか。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>
23 白井 忠雄	<p>1 豪雨・台風等の溢水対策について 2024年7月31日の豪雨により市内各所で被害が</p>	<p>市長及び教育長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>発生し、市道第1138号線、同第1118号線、同第1119号線、同第1143号線等では道路冠水し、沿道の大和田五丁目7番～10番周辺で多くの住宅が床上・床下浸水、自家用車が浸水しました。この地域は被害が度重なり大変深刻です。溢水被害の再発を防いで市民の生命・身体・財産を守るとともに、また、同市道は通学路なので児童・生徒の安全確保も課題です。市では要因と改善策についてどのように考えていますか。早期改善に向けて以下8点の実施を検討すべきです。</p> <p>(1) 雨水貯留施設の新設について            第四中学校の校庭、大和田児童遊園、児童センター予定地に雨水貯留施設の新設を検討すべきではないですか。</p> <p>(2) 柳瀬川の河道掘削工事实施について            柳瀬川の流量を増加させて内水・外水氾濫を防ぐため、新座市区間の河道掘削工事を県に要望すべきではないですか。</p> <p>(3) 防衛道路からの雨水流入抑止策について            県道川越新座線（防衛道路）から市道第1118号線への雨水流入を抑止するため、横断側溝の改良などを県と協議すべきではないですか。</p> <p>(4) 雨水貯留槽及び浸透マスの設置拡大について            住宅、企業、公共施設・学校等で雨水の一層の貯留化・浸透化を促進し、また、公共施設・学校に大規模な雨水貯留槽を設置して、大雨時に雨水管への流入を減らす構造に改良すべきではないですか。</p> <p>(5) 止水板設置など市民に寄り添った支援策について            家屋への浸水を防ぐため止水板設置費用助成制度を復活し、古い土のうの交換・処分、水のう袋を配布し、また、市で小型ポンプの貸し出し、道路冠水時の交通規制など災害現場での対応について支援策を検討すべきではないですか。</p> <p>(6) 自家用車の浸水前避難について            大雨で自家用車が浸水する前に移動できるよう、公共施設、学校の校庭・敷地の使用や町内会・民間事業者等との協力などで臨時の駐車場所を確保しておくべきではないですか。</p> <p>(7) 堆積土砂除去の清掃作業実施について</p>	

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>大和田五丁目7番～10番周辺の下水道管、マンホール、側溝等に堆積した土砂などの除去清掃作業を実施して、流量を増やすことで満管を防ぐべきではないですか。</p> <p>(8) リアルな情報の発信・提供について マンホール水位計、道路冠水センサーなどの設置でリアルな水位情報を地域住民に発信・提供して、浸水被害を軽減すべきではないですか。</p> <p>2 児童・生徒を自然災害から守ることについて 子どもたちの生命・身体を守るため、落雷、突風、大雨、熱中症から校内、体育の授業・部活動中、また放課後生活での対応について、危機管理体制は各学校で徹底されていますか。また、心のケアの体制は万全でしょうか。</p> <p>3 水道水の錆解消策について 水道水に混ざる錆で悩まされている住宅街があります。安心して水道が使用できるように布設替えや管の清掃など解決策を検討すべきではないですか。</p> <p>4 投票率向上に向けた取組について 昨今の選挙における投票率が伸びないことについて要因をどのように分析していますか。投票率向上への取組では、本市では2月の厳寒と7月の猛暑の中で投票行動をしやすいよう十分な配慮をした環境整備を進めるべきではないですか。また、以下3点について検討すべきではないですか。</p> <p>(1) 共通投票所制度の導入について 市内どこの投票所でも投票できることで、有権者の皆様が行きやすい投票所を選べるようにしてはどうですか。</p> <p>(2) 駅周辺及び新座団地に期日前投票所を拡大することについて 新座駅・志木駅周辺や新座団地に期日前投票所を増設するため、公共施設の他に民間施設等の活用も含めて検討してはどうですか。</p> <p>(3) 移動式期日前投票所の導入について 高齢者や障がい者の方などが身近な場所で安心して投票できるよう、移動式の期日前投票所を導入してはどうですか。</p>	<p>市長及び教育長</p> <p>市長</p> <p>選挙管理委員会委員長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
24 上田美小枝	<p>1 不登校児童・生徒のための居場所づくりについて</p> <p>(1) 市南部地域への不登校児童・生徒のための居場所づくりについて</p> <p>現在、新座市では、不登校児童・生徒のための居場所としてサポートルームが市内3か所に設置されていますが、いずれも北部地域にあり、南部地域には無く、南部に居住している児童・生徒たちには、距離的に不便です。早急に設置する必要があると考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>(2) メタバースの活用について</p> <p>2022年、不登校の小・中学生が全国で過去最多の29万人超となり、更に増加傾向にあります。自宅のインターネットにつながった端末から「メタバース（オンライン上の仮想空間）」に入り、そこに設置された学びの教室に「メタバース登校」をすることにより、学習や交流を行うことができます。そこで、学校以外の新たな学びの場の選択肢として、期待されているメタバースの活用について、市の見解を伺います。</p> <p>2 高齢者の安心見守りにつながるLED電球と通信機能が一体となった「見守りライト」の導入について</p> <p>一人暮らしの高齢者や高齢夫婦などと離れて暮らす家族が、電球と通信機能が一体となった専用ライトを取り付けることにより、異常を検知した際は、設定した家族に自動的に知らせることができ、また、工事は不要で、負担感や抵抗感も無く利用ができます。このサービス事業の導入をしていただきたいと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>3 障がい者の職場参加による就労支援の更なる拡充について</p> <p>重度の障がい者の就労支援として、市役所庁舎内で職場実習を行う「新座方式」という市独自の支援を行っていますが、更に多くの障がい者の就労体験ができる体制の強化ができないか、市の見解を伺います。</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
25 山口 歩	<p>1 災害発生時の避難所生活と備蓄品について</p> <p>(1) 避難所における多言語対応や多様な栄養ニーズを持つ方々への支援について</p> <p>避難所での言語の壁、食物アレルギーや宗教上の理由で食べられないものがあるなど多様な栄養ニーズを</p>	<p>市長</p>

令和6年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>持つ方々への対応について、市の考えを伺います。</p> <p>(2) 防災備蓄品について 避難所生活で安心して乳幼児と生活するための支援として、備蓄品拡充に対する考えを伺います。</p> <p>2 新座市公式LINEについて 情報を迅速に市民へ届けられる、効果的なコミュニケーションツールとして利用されている新座市公式LINEの今後の更なる活用方法について、市の考えを伺います。</p> <p>3 ヘアドネーションについて 頭髪に悩みを抱える方たちへ、自分の髪を寄付する活動であるヘアドネーションの認知度向上に向けた本市の取組について伺います。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>